



酒匂の清流

令和3年6月1日(火)発行

校長 津田 将美

にんじん一本 小さな一歩

5年生の給食指導に行きました。しかし、特別教室での授業だったため、子どもたちはまだ、教室にもどってきていません。隣のクラスはもう準備を進めていたので、不慣れな私は、その配膳台の配置を確認しながら準備を進めていました。きっと戸惑いながら準備を進めているように見えたのでしょう。(実際にその通りだったのですが…)一人の女子に、声をかけられました。

「校長先生、手伝います。机をふいてくるね。」

「ありがとう、助かる。」

「ぼくも、ふきます。」

男子も1名加わり、おぼつかない手つきの私を颯爽と手伝ってくれました。

そうこうしているうちに授業が終わり、クラスの子もたちがもどってきました。

「みんながもどってくるまで、隣のクラスの人が手伝ってくれたよ。」

「ありがとうございます。」

隣のクラス同士の爽やかなやり取りが、気持ちよかったです。

その後の配膳中のことです。

「校長先生、ぼくは苦手なものがあるので、野菜は入れないでください。」

「えっ、そうなの？少しは食べられない??」

そのやりとりを聞いていた別の子が、教えてくれました。

「先生はいつも、そういうときは、にんじん一本入れてるよ。」

「じゃあ、にんじん一本ね。」

「ええっ、でも食べられないよ。」

「無理じゃなくていいから、とにかく入れとくね。」

無事に配膳も終わり、いよいよ「いただきます」となりました。

食事中は、昨年度から続く「黙食」です。とっても元気な松田小学校の子どもたちであります。感染症対策をしっかりと守り、静かに食べることを続けています。5年生の教室の食事静かに進んでいきました。

食べ終わった子からマスクをして、食器を片付け始めます。黙食でも、おいしい給食は心にも栄養を送ってくれているようで、どの子も、いい顔をしています。そんな時間帯になって、先ほどにんじん一本を配食された子が、にこにこしながら私のところにやってきました。

「校長先生、にんじん食べたよ。」

「えっ、本当!!がんばったね。」

「うん。」

「みんな、〇〇さん、にんじん食べたよ～」

自然と拍手が沸き上がりました。周りの子どもたちも、うれしそうです。

「次は、5本、がんばれ～!!」

「うわあ、それは無理だあ…」

思わずみんな、笑顔。ほのぼのとした、とってもあたたかい空間でした。にんじん一本、小さな一歩。それでも、少しずつでも進み続けることが大切なのだと感じました。

あたたかい仲間たちと支え合いながら、一步一步進んでいけるといいです。



三太のこと

我が家のわんこの三太が、病気になりました。食べたものが胃にたまって腸までいなくなってしまう、お腹がぱんぱんに張っていました。ウンチも出ずに、とても心配していましたが、幸いに手術が成功して元気になりました。

立派なウンチが出たときは、本当に嬉しかったです。

そんな話を、昨年度の3学期の始業式の日、放送で子どもたちに伝えました。小さなひとつひとつの命を大切にしてほしいと伝えただけなのですが、その後何人かの子どもたちが、三太のことを気にかけて話をしに来てくれました。

学級担任をしている時から感じていることですが、自分自身が経験した喜びや感動、くやしさを自分自身の言葉で子どもたちに伝えると、本当に真っすぐに、素直な心で受け取ってくれます。

5月も下旬にさしかかったある日、三太が亡くなりました。病気が再発してからは、弱っていく一方だったので、私たち家族にとっても、つらい日々が続きました。しかし、一緒にいる時間を大切に、できることは全てしてあげた自信があるので、後悔することはありません。

きっと今は、苦しさから解放されて、天国でゆっくりと休んでいることと思います。

命と向き合った経験は、かけがえのないものです。今はまだつらく悲しいですが、三太との思い出もいつかは、彩りのある豊かなものへと変わっていくと信じています。

苦しい時には、職員室で声に出してみました。職員が親身になって聞いてくれたことが救いとなりました。忍耐は美德ともいわれますが、やはり、つらいことを口に出してみることも大切なのだと思います。きっと誰かが寄り添い、たとえ解決には至らなくても、心は軽くなっていくはずですよ。

今は朝会もなく、なかなか全校の前で話をする機会がもてないままですが、いつかは三太のことを子どもたちにも話してあげたいと思っています。



アレルギー研修会

今年度2回目のアレルギー研修を行いました。講師は十日市場こどもクリニック院長、奥典宏先生です。奥先生は、主に神奈川県内の病院に勤務され（県立足柄上病院勤務の経歴もあります）多くの病院でアレルギー外来や食物負荷試験の立ち上げを行ってきたアレルギーの専門家です。

第1回は、給食の開始に合わせてビデオ視聴を中心に行いましたが、今回は、奥先生に、より実践的な講話をいただくことができました。

子どもたちの命を守るというねらいがありますので、職員も真剣です。ビデオ視聴を通じた事例を学び、実際にエピペン（練習用）を使用した実技も一人ひとりが体験しました。

学んだことを子どもたちの安心・安全な生活につなげていきます。



全国学力・学習状況調査

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で全国一斉での実施は見送られた6年生の全国学力・学習状況調査が、5月27日に行われました。学力や学習状況を把握・分析することで成果と課題を検証しその改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として行われるものです。

下の写真のように、教室はぴんと張り詰めた緊張感の中、6年生の子どもたちは、とても真剣に取り組んでいました。調査結果は後日、一人ひとりに提供されます。

終了後、子どもたちはとても疲れた顔をしていました。がんばったね。お疲れさまでした。

